

徳島大学英語（2021～2024年）の徹底分析に基づき、**指導講師の方々が明日からすぐに実践できる「指導マニュアル（アドバイス集）」**を作成しました。

他の国公立大対策とは一線を画す、徳島大特有の「癖」を攻略するための指導指針です。塾内での講師研修や、生徒へのガイダンス資料としてご活用ください。

徳島大学 英語指導マニュアル

～「日本語禁止」の壁を突破する指導の鉄則～

【大前提】 指導マインドセットの転換

徳島大の英語には、和訳も日本語説明も一切ありません。したがって、普段の指導で「ここを日本語に訳して」と問い合わせることは、徳島大対策としては遠回りになります。

- × 従来の指導: 「この英文の和訳を言ってごらん」
- ◎ 徳島大特化: 「この英文が言いたいことを、簡単な英語で言い換えてごらん」

生徒の頭を「翻訳脳」から**「英語運用脳」**へ切り替えさせることが合格への最短ルートです。

【分野別】 指導のポイントと具体的アクション

1. 長文読解（大問1・2）指導：「コピペ」からの脱却

生徒が最も陥りやすい罠は、**「本文の該当箇所をそのまま書き写して減点される」**ことです。これを防ぐために、以下の3点を徹底させてください。

① 「脱・一人称」キャンペーン

大問1のエッセイは、ほぼ "I"（筆者）の視点で書かれています。しかし、設問は客観的な事実を問うています。

- 指導指示:

「答えを書くとき、主語が "I" や "We" になっていたら即アウトだと思いなさい。必ず "The writer" や "The soldiers"、"She/He" に書き換えること。これができるだけで点数が跳ね上がるよ。」

② 疑問詞への「条件反射」トレーニング

設問の疑問詞を見た瞬間に、文頭が決まるように訓練してください。

- Why...? と聞かれたら \$Yrightarrow\$ Because S + V... または To do... で書き始める。
- How...? と聞かれたら \$Yrightarrow\$ By doing... （～することによって）で書き始める。
 - アドバイス: 生徒の解答を見て、文法的に正しくても、この「書き出し」がズレていたら厳しく修正してください。

③ 「指示語」は逃さない

毎年必ず、it, that, this の内容を問う問題が出ます。

- アクション: 長文読解の授業中、指示語が出てくるたびに授業を止め、**「この it は具体的に英語で何？」**と指名して答えさせてください。

④ 「教訓（Lesson）」の言語化

大問1の最後は必ず「この話の教訓は？」です。

- アクション: 読解の最後に、**「結局、筆者は何が言いたかったの？ 一言の英語でまとめて」
**と問い合わせてください。(例: *We should accept our faults.* / *Hatred creates nothing.* 等)
-

2. 自由英作文（大問3）指導：「型」の死守

80～100語という語数は、「自由に書く」には短すぎ、「説明しきる」には窮屈な長さです。迷いを消すために、テンプレートを固定させてください。

① 構成のテンプレート化

以下の構成以外は認めない、くらいの指導で構いません。

1. 結論: I agree/disagree... / I think that...
2. 導入: There are two reasons for this.
3. 理由 1: First, ... For example, ...
4. 理由 2: Second, ... Also, ...
5. 結び: Therefore, ...

② 「中学生英語」で勝負させる

徳島大の英作文で評価されるのは、高尚な表現ではなく**「論理の明確さ」と「ミスのなさ」**です。

・ 指導指示:

「難しい単語や関係代名詞の複雑な構文を使おうとしてスペルミスをするくらいなら、中学2年生で習った単語と文法だけで書きなさい。それが満点への近道です。」

【時期別】 合格カリキュラム案

Phase 1: 基礎養成期（～夏まで）

- 教材: 英検2級～準1級の長文問題、または標準的な私大入試問題。
- 目的: 語彙力の強化（CEFR B2 レベル目標）と、パラグラフごとの要旨把握。
- 徳島大特化: 読んだ長文に対し、「英語で要約（Summary）を書く」練習を取り入れる。

Phase 2: 傾向対策期（秋～冬）

- 教材: 徳島大過去問、または今回作成したAIによる予想問題（大問1・2形式）。
- 目的: 「I → The writer」の書き換えと、記述解答の精度向上。
- 指導: 生徒の記述解答を添削し、**「主語の不一致」「時制のズレ」「代名詞の不明確さ」**を徹底的に赤入れする。

Phase 3: 直前演習期（1月～2月）

- 教材: 予想問題、英作文タイムアタック。
 - 目的: スピード養成。
 - 演習: 英作文を「10分以内」で書く練習を繰り返す。読解問題は時間を計り、**「悩みすぎず、本文にある表現をうまく加工して書く」**判断力を磨く。
-

講師の皆様へのメッセージ

徳島大学の英語は、決して「奇問・難問」ではありません。むしろ、**「英語を言葉として正しく使えるか」**を問う非常に良質な試験です。

生徒様が「日本語に頼る癖」を抜け出し、「英語で情報を処理する姿勢」を身につければ、必ず高得点が取れます。このマニュアルを参考に、自信を持って指導にあたってください。応援しております。